

あつい夏

一気に真夏日が到来しました。大人はくちぐちに
「あついねえ」なんて、あいさつをかわしているけれど
子どもたちには、そんなあいさつ、ありません。
「あついねえ」なんてことばも使いません。
ふきでるあせも、自分では、ふきません。
だって、夏は、子どもたちの季節。

あせも、どろみずも、せみのおしっこだって
へっちらら。
タイヤにたまった水たまりに、じゃっぶ〜ん
きもちい〜い。
静かに泳いでいた、おたまじゃくしもびっくりして
色とりどりの子ガエルに早変わり
草むらに飛び出して、ぴよこ、ぴよこ、ぴよこ
まで、まで、まで 追いかける子どもたち。
「つかまえた！」
爪ほどの、ちいちゃいカエルさんをにぎりしめ、ご満悦
とおもいきや、こんどは虫アミもって、いざ、セミ探検。
いたぞ！ びっびっび〜。あ、にげられた。
こんどこそ、ひょい、「やったあ！」
網の中で動くセミをつかまえるのだって、おてのもの。

ちいさな生き物や草花たちと、いのちを触れ合わず
ひとつひとつの場面が子どもたちの成長の歴史を紡ぐ
そうして、つくしの子どもたちはまたひとつ
たくましく育っていく、その夏がいま、まっさかり。

(つくし保育園園長 つだかずお)

<お庭のチャペル 礼拝のご案内>

毎週日曜日午前10時30分 だいが教会

聖書のたのしいお話と讃美歌

はじめての方も心より歓迎します。